

粘菌はおもしろい！

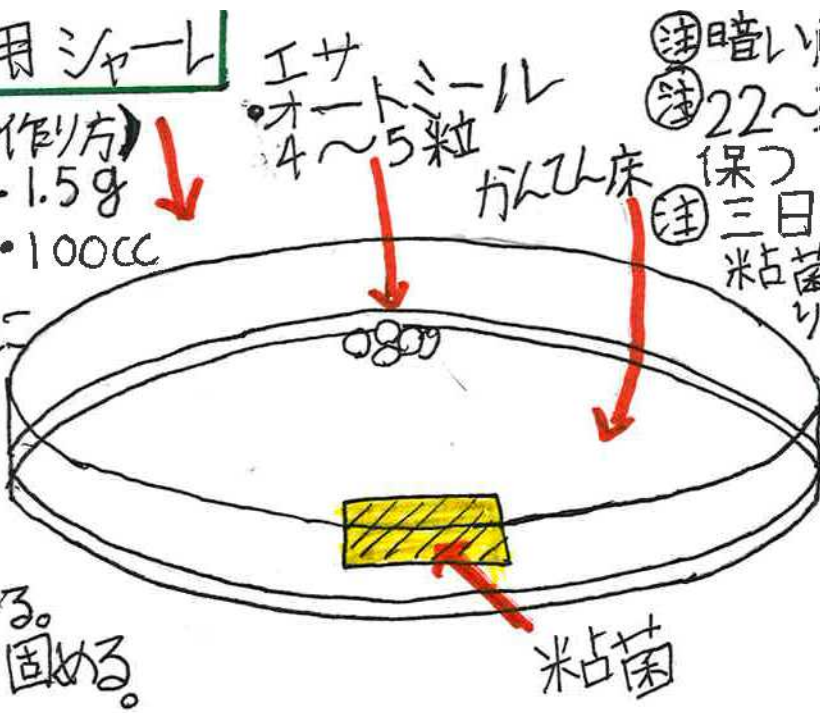
動機 ぼくは、和歌山にある南方熊楠記念館で「モジホコリ」という粘菌をもらったので育ててみました。

説明 粘菌とは、普通はアメーバ状だが、包子を飛ばす時だけキノコみたいな菌です。

暗い所に置く
22~23℃に保つ
三日ごとに粘菌を切り取り新しいシャーシに移す。

粘菌育て用シャーシ
(かんてん床の作り方)
かんてん.....1.5g
水.....100cc

- ①沸とうせうに熱する
- ②15分くらいいて透明になる。
- ③シャーシで固める。



粘菌は、目も鼻も無いのに、必ずイサを見つけます。

ここぞ!

実験 意地悪をして、障害を作ってみて、イサを探せるかやってみた。

考察

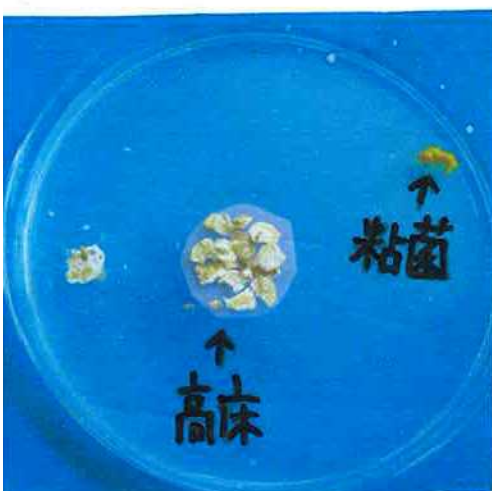
粘菌は大変な事は、後回しにする性質があるようだ。まるでぼく達人間のようだな、と思います。



- ①山を作ってみた。
- ②ずと平地をさがすか
- ③あきらめて登った。山に登りかけるとは降りる。(とうとう発見)

- ①高床にイサを置いた。(下からだと分からないようにした。)
- ②平地を二日間探しまくった。(それにも、高床を登ろうとしない。)
- ③三日目に、ついに登り始めた。

④とうとうイサを発見!!!



石川空真